

評価項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		体力的に長い時間を座位姿勢で過ごすのが難しい子どもさんのために、横になるスペースを確保している 感染症対策として横になるスペースで密にならないようにそれぞれの間隔や横になるタイミングなどに配慮している	フロア内の換気扇を増設し、換気能力の向上を行ったため、現在は人数制限はしておらず、定員どおりの受入をしている密にならないような工夫は継続して実施している
	2 職員の配置数は適切である	○		医療的ケアが必要な子どもさんの受入もしているため、看護師の出動を確保している	引き続き、医療的ケアがより濃厚に必要なお子さんの受入についても安全・安心できるような医療体制に努める
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境（※1）になっているか また、障害の特性に応じ、事業所の設備等はバリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		肢体不自由児の方が利用しやすいように館内は全てバリアフリーにしている 広がりや苦手な方は視界に入るものが少ないような位置取りをするなどの配慮をしている 障害の特性に応じて、写真や絵カードを使って日課等の情報を伝える工夫をしている 感染症対策として、出来る限り、一人ひとりの間隔を開けるように配慮している	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか また、子どもたちの活動に合わせた空間となっているか	○		フロアマットや使用された遊具等は毎日洗浄、消毒等清潔を保つようにしている 活動に応じて机・フロアの移動を行っている	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○		業務改善について事業所ミーティングで職種の壁なく検討し、改善に努めている 改善事項のその後の状況について、定期的な見直しをすることとしている	
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		保護者向け事業所評価アンケートを実施した（R5.11）ミーティングで評価表の確認、保護者アンケート集計を報告し、業務改善、教育の実施を行っている	ご家族からの意見により、職員の利用者やご家族に対する表現の方法やコミュニケーション力の向上に関して、ミーティングで話し合い、支援の振り返りを行った
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		法人のホームページの事業所ページにて、事業所評価を公開している	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○		児童通所支援事業としては外部評価は実施していないが、令和4年度に併設している重心入所施設が第三者評価を受審し、評価結果に基づいて、施設全体として取組む必要がある項目について改善に向け検討を行っている	
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		法人研修の新人研修、フォローアップ研修への参加、外部の研修への参加も奨励し、主に呼吸器関連、重症心身障害児者支援に関する研修に参加をしている 施設内研修は感染症対策、虐待防止、医療安全、等、施設内教育委員会等で年間研修計画を立てて実施している	
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		利用者が就学直前のお子さんが主なため、保護者の方に就学に向けて現在目標にしていることや併用されている児童発達支援センターでの取組についても聴き取りを行い、年度当初に計画を作成している	
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		施設内の個別支援委員会で作成したアセスメントツールを使用し、状況やニーズ把握を行い、アセスメントを実施している ツールの見直しも委員会で定期的に行っている	
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		児童発達支援計画は、多職種によるカンファレンスを行い、必要な支援を検討して、具体的な支援内容を記載している 利用の送り迎えで家族来所時に、ご家族との情報交換を行い、支援内容に活用できるように事業所内でも共有している	
	13	○		児童発達支援計画に沿って支援を行っている 昨年度と同様、感染症対策により、家族との個別面談は行っていないが、利用時に可能な限り情報交換を行った 今年度末には個別面談を再開する予定としている	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		活動プログラムは毎月実施する事業所ミーティングで、看護職員、児童指導員、機能訓練担当職員の多職種で検討している 年齢幅が広いため、対象年齢を勘案して、必要に応じて、年齢別のプログラムや個別の関わりを行っている	
	15 活動プログラム（※3）が固定化しないよう工夫されているか	○		季節を感じるプログラムを入れることやマンネリ化しないよう、毎月プログラム作成担当者を決め、ミーティングで検討し偏ったプログラムにならないよう工夫している	
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて児童発達支援計画を作成しているか	○		全体プログラムは集団活動がメインになるが、子どもさんの状況に応じて、参加を支援している 個別活動は、生活訓練や製作活動など本人の状態に応じて組み合わせたり、個別対応の時間を設けるなど工夫をしている	
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		送迎前に朝礼を行い、利用者の状況、当日の支援内容や担当割について確認をしている	
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点などを共有しているか	○		送迎からの帰所後、支援日誌を記録する際に、職員間で当日の振り返りを行い、情報共有している	
19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		日々の支援についての報告はご家族との連絡帳と支援日誌があり、個別の記録には、水分・食事状況、の様子等について記載している モニタリングやカンファレンス時、何かあった際には、日々の支援記録に振り返り検証している 介護記録システムの導入により、より数値的な状況は把握しやすくなっている	利用者様の状況変化に対応していけるよう情報収集と検証を行う	

評価項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20	○		定期的にモニタリングを多職種で実施し、見直しが必要な点や現在の達成度について検討している状態変化に応じて必要時に支援内容を変更することもある	
	21	○		サービス担当者会議には、児童発達支援管理責任者もしくは支援担当職員が出席し、必要に応じて看護師も参画しているzoomミーティングなどのツールを使ったオンラインでのサービス担当者会議の実施や、今年度は徐々に対面会議の開催も増えてきており、他のサービス事業者とも情報共有ができています	
	22	○		相談支援専門員や主治医、必要時には並行通していることも療育センターとの連絡、ご家族からの情報収集を行い、連携している	
	23	○		医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のあるお子さんの支援については、当施設の医師を通じて主治医と連携し、必要な支援をしている 地域の保健師の方との関わりは少ないが、広島市重症心身障害児者相談支援センターや療育センターとの関わりは多い	
	24	○		主治医とは利用前に当施設の外来受診の際に、診療情報提供書を施設の医師にいただき、必要時に当施設の医師を通じて連携をしている 利用開始後に状態変化や医療的ケアの留意事項の変更などがあれば随時、診療情報提供書をいただき、連絡ができる関係性を築いている	
	25	○		保育園・認定こども園の対象児は現在いないが、他の児童発達支援事業所とは必要に応じてご家族を通して、もしくは担当者会議での情報共有を行っている	保育園・幼稚園に在籍しているお子さんが現在はいないが、必要時には連携を図れるように連絡体制や関係を作っていく必要がある
	26	○		必要に応じて、利用者支援の一環として、事業所間の申し送り事項や支援内容等をお伝えするようにしている 事業所や関係先が増えた際も同じように情報提供をしている	
	27	○		広島市重症心身障害児者相談支援センターや他の重心施設と連携し、助言やショートステイの情報等、地域との連携に協力いただくことがある	
	28	○		現在そういった機会を設けていない 医療的ケアが必要な方が多く利用しており、安全面や感染症対策への配慮を優先させていただいている	肢体不自由児、医療的ケアの必要な児の利用が多く、安全面や感染症対策への配慮を必要とし、ご家族の意向として機会を望んでいるかどうか、安全面等の方策等も検討し、実施機会を検討したい
	29	○		佐伯区地域部会の子ども部会へ登録し、他事業所との情報共有を行っている 他の障害福祉サービスとの連携や情報共有ができる体制を作るよう努めている	
保護者への説明責任等	31	○		広島市重症心身障害児者相談支援センターと連携し、家族介護教室の情報提供、参加の促し、施設全体として取り組んでいる啓発講演会、地域相談支援会等のお知らせは都度ご家族にお伝えし、保護者支援に努めている	感染症の状況はあるが、保護者の方の学びの機会や情報提供ができるよう、方法を検討する
	30	○		日頃からお子さんの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができています	
	32	○		利用契約時、令和4年7月より入浴代の変更の際に、重要事項説明書、利用者負担等について説明を行い、同意を得ている	
	33	○		児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	
	34	○		お迎え時や例年は、行事日の家族懇談会、個別面談を通して、子育ての悩み等の相談に応じている 家庭環境の変化や就学前などライフステージの変化などの際には、お子さんの様子、ご家族の困りごとの把握を行い、必要な支援を行う 今年度は面談を希望するご家族に個別面談を実施 その都度、相談員や相談支援センター等へ相談いただいている	
	35	○		広島市重症心身障害児者相談支援センターと連携し、家族介護教室の情報提供をしている 年2回行事開催に合わせて、保護者同士のつながりの場を設けている	
	36	○		相談窓口、担当者を設置し、相談対応を行っている 重症心身障害児者相談支援センターとも必要時に連携し対応している	
	37	○		通所の月間予定表等で、活動報告や行事予定、施設からのお知らせ等を掲載して配布している	
	38	○		個人情報保護の規定に則り、支援に当たっている 年1回は必ず個人情報保護の研修会を実施し、職員の意識向上に努めている	

評価項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任	39	○		必要に応じて給カード等を使用して意思疎通を行う子どもさんもある ご家族とは連絡帳や日々の送迎時のコミュニケーションを丁寧に行うようにしている	送迎時にご家族にお子さんの日中の過ごした様子を伝えるだけでなく、今取り組んでいること、成長している点などをできるだけ分かりやすく伝える（写真や時には実際に活動を見せようなど）工夫をする
	40	○		令和5年度より、キャンパス全体の秋祭りを再開し、ご家族の参加は制限なしで実施している 施設全体で取り組んでいる鈴FESを11月に実施し、利用者、家族、地域住民、関係事業所等も多く参加いただいた	
非常時の対応	41		○	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対策マニュアルの作成は、各委員会で作成、見直しを行い、職員にはミーティング等で周知を図っている 防犯訓練は左伯警察署の協力いただき、実施している	緊急時対応や感染症対策等の対応に関して、利用者様、ご家族様への周知とご理解を得られるように、個人面談時の伝達や施設内の掲示、ホームページの活用等を検討する
	42	○		毎月、消火訓練、避難訓練を実施している 土砂災害についても訓練を実施	訓練実施等について、広報紙やホームページの活用によりご家族様への周知を図る
	43	○		利用前に必ず外来受診を行い、服薬や予防接種の聞き取り、緊急時の対応についてご家族から確認をさせていただいている	
	44	○		アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	
	45	○		ひやりはっと、インシデント・アクシデント報告は施設の所定の様式で報告書を作成し、事業所内での周知及び、施設の委員会への報告を行っている	
46	○		虐待防止委員会を設置し、職員研修の実施や虐待防止マニュアルを作成し、適切な対応に努めている		
47	○		身体拘束に当る行為については、児童発達支援計画に記載し、支援の評価の際に必ず身体拘束についても評価、見直しを行っている		

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）（令和5年度）

（ 児童発達支援 ）

回答率（50% 登録者2名 回答1名）

評価項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されているか	1					
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	1					
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境（※1）になっているか また、障害の特性に応じ、事業所の設備等はバリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	1					
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか また、子どもたちの活動に合わせた空間となっているか	1					
適切な支援の 提供	5 こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（※2）が作成されているか	1					
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	1					
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	1					
	8 活動プログラム（※3）が固定化しないよう工夫されているか	1					
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		1				現在は近隣の保育園や幼稚園等との交流の機会を持つことはしていません どういった形で交流することが通園の対象利用者様にとってより良いかについて、ご家族の意向や、安全面の配慮等の方策を検討してまいります
保護者への 説明等	10 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	1					
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	1					
	12 保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング（※4）等）が行われているか	1					
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか		1				ご利用時の状況や現在の課題などをご家族と共有し、より良い児童発達支援の提供に努めます
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか		1				ご利用時の状況や現在の課題などをご家族と共有し、より良い児童発達支援の提供に努めます
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の連携が支援されているか	1					
	16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	1					
	17 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	1					
	18 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	1					
19 個人情報の取り扱いに十分注意されているか	1						
非常時の 対応	20 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対策マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか		1				緊急時対応や感染症対策等の対応に関して、利用者様、ご家族様への周知とご理解を得られるよう、契約時だけでなく、施設内の掲示の工夫やお知らせ等努力してまいります
	21 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか		1				非常災害訓練の実施状況について、ホームページや広報紙等での周知を検討してまいります
満足度	22 子どもは通所を楽しみにしているか	1					
	23 事業所の支援に満足しているか	1					

評価項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		体力的に長い時間を座位姿勢で過ごすのが難しい子どもさんのために、横になるスペースを確保している 感染症対策として横になるスペースで密にならないようにそれぞれの間隔や横になるタイミングなどに配慮している	フロア内の換気扇を増設し、換気能力の向上を行ったため、現在は人数制限はしておらず、定員どおりの受入をしている 密にならないような工夫は継続して実施している
	2 職員の配置数は適切であるか	○		医療的ケアが必要な子どもさんの受入も行っているため、看護師の出動を確保している	引き続き、医療的ケアがより濃厚に必要なお子さんの受入についても安全・安心できるような医療体制に努める
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○		肢体不自由児の方が利用しやすいように館内は全てバリアフリーにしている 広がりや苦手な方は視界に入るものが少ないような位置取りをするなどの配慮をしている 環境的に受入れにくいお子さんがいる場合にはスペースをとる時に配慮が必要と考えている 感染症対策として、出来る限り、一人ひとりの間隔を開けるように配慮している	
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○		毎月の事業所ミーティングで業務改善の必要がある際には、職種の壁なく話をし、改善に努めている	
	5 保護者等向け評価表を活用する等により、アンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		保護者向け事業所評価アンケートを実施した（R5.11）ミーティングで評価表の確認、保護者アンケート集計を報告し、業務改善、教育の実施を行っている	ご家族からの意見により、職員の利用者やご家族に対する表現の方法やコミュニケーション力の向上に関して、ミーティングで話し合い、支援の振り返りを行った
	6 この自己評価の結果を、事業所の開放やホームページ等で公開しているか	○		法人のホームページの事業所ページにて、事業所評価を公開している	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○		児童通所支援事業としては外部評価は実施していないが、令和4年度に併設している重心入所施設が第三者評価を受審し、評価結果に基づいて、施設全体として取組む必要がある項目について改善に向け検討を行っている	
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		法人研修の新人研修、フォローアップ研修への参加、外部の研修への参加も奨励し、主に呼吸器関連、重症心身障害児者支援に関する研修に参加をしている 施設内研修は感染対策、虐待防止、医療安全、等、施設内教育委員会等で年間研修計画を立てて実施している	
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		保護者の方から現在目標にしていることや学校での取組についても聞き取りを行い、年度当初に計画を作成している	
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		施設内の個別支援委員会で作成したアセスメントツールを使用し、状況やニーズ把握を行い、アセスメントを実施している ツールの見直しも委員会で行っている	
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		活動プログラムは毎月実施する事業所ミーティングで、看護職員、児童指導員、機能訓練担当職員等多職種で検討している 年齢幅が広いので、対象年齢を勘案して、必要に応じて、年齢別のプログラムや個別の関わりを行っている	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	○		季節を感じるプログラムを入れることやマンネリ化しないよう、月毎プログラム作成担当者を決め、ミーティングで検討し偏ったプログラムにならないよう工夫している	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○		利用者の方々の多くが、訪問学級のお休みの日もしくは、長期休暇に来所する休業日利用のため、日中の過ごし方や関わり方に関しては大きく変えていない 通学の利用者様については、長期休暇の過ごし方の聞き取りなどを行い、必要に応じて過ごし方を検討している	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		全体プログラムは集団活動がメインになるが、子どもさんの状況に応じて、参加を支援している 個別活動は、生活訓練や製作活動など本人の状態に応じて組み合わせたり、個別対応の時間を設けるなど工夫をしている	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		毎朝、朝礼を行い、利用者の状況、当日の支援内容や担当割について確認をしている	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点などを共有しているか	○		支援日誌を記録する際に、職員間で当日の振り返りを行い、情報共有している	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		日々の支援はご家族との連絡帳と支援日誌があり、個別の記録には、水分・食事状況、ご様子等について記載している モニタリングやカンファレンス時、何かあった際には、日々の支援記録に振り返り検証している 介護記録システムの導入により、より数値的な状況は把握しやすくなっている	
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		定期的にモニタリングを多職種で実施し、見直しが必要な点や現在の達成度について検討している 状態変化に応じて必要時に支援内容を変更することもある	
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○		主として支援している重症心身障害児への支援として、施設の職員や事業所の専門職種（セラピスト、看護師、保育士）で連携しながら、基本活動の組み合わせや個別の課題を持ちながら取り組みを行っている	基本活動の地域交流の機会の提供は、立地条件や重症心身障害児の体調面での配慮から積極的に実施は出来ていないため、どのような形で地域と関わりを持っていくかを考えていく必要がある	
関係機関や保護者との連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		サービス担当者会議には、児童発達支援管理責任者もしくは支援担当職員が出席し、必要に応じて看護師も参画している zoomミーティングなどのツールを使ったオンラインでのサービス担当者会議の実施や、今年度は徐々に対面会議の開催も増えてきており、他のサービス事業者とも情報共有ができています	
	21 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○		年度末の個別懇談の際に、学校の年間計画や次年度の目標設定等についてご家族様と話し合いの機会を持つようになっている 現在、授業終了後の利用や送迎は実施していない	

評価項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
関係機関や保護者との連携	22		○	主治医とは利用前に当施設の外来受診の際に、診療情報提供書を施設の医師にいただき、必要時に当施設の医師を通して連携をしている		
	23		○	保育園・認定子ども園の対象児は現在いないが、他の児童発達支援事業所とは必要に応じてご家族を通して、もしくは担当者会議での情報共有を行っている	必要時には連携を図れるように連絡体制や関係性を継続していく	
	24		○	就学前に特別支援学校との支援内容の情報共有や学校に通い始めてからの医療連携等で必要時に情報提供を行っている 卒業前については移行支援会議を活用し、情報提供を行っている		
	25		○	療育センター研修企画の参加は例年行っているが、今年度は参加していない 広島市重症心身障害児者相談支援センターや他の重心施設と連携し、助言やショートステイの情報等、地域との連携に協力いただいた		
	26		○	現在そういった機会を設けていない 医療的ケアが必要な方が多く利用しており、安全面や感染症対策への配慮を優先させていただいている	肢体不自由児、医療的ケアの必要な児の利用が多く、安全面や感染症対策への配慮を必要とし、ご家族の意向として機会を望んでいるかどうか、安全面等の方策等も検討し、実施機会を検討したい	
	27	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか		○	佐伯区地域部会の子ども部会へ登録し、他事業所との情報共有を行っている 生活介護事業所が佐伯区就労部会へ参加しており、卒業後の移行等、他の障害福祉サービスとの連携や情報共有ができる体制を作るよう努めている	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況や課題について共通理解を持っているか		○	日頃のお迎え時にご家族様とのコミュニケーション、情報交換はより積極的に行うように心がけている お迎え時に、必要に応じて、少し時間をいただくなどして、お子さんの状況把握と支援について話をする時間を短時間ではあるが設けるようにしている 今年度は年度末に個別面談を感染対策に留意し再開する予定としている	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか		○	広島市重症心身障害児者相談支援センターと連携し、家族介護教室(オンライン)の情報提供、参加の促し、施設全体として取り組んでいる啓発講演会等のお知らせは都度ご家族にお伝えし、保護者支援に努めている	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか		○	利用契約時、令和4年7月より入浴代の変更の際に、重要事項説明書、利用者負担等について説明を行い、同意を得ている	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか		○	送迎の時や行事日の家族懇談会、個別面談を通して、子育ての悩み等の相談に応じている 家庭環境の変化や就学前などライフステージの変化などの際には、お子さんの様子、ご家族の困りごとの把握を行い、必要な支援を行う	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	広島市重症心身障害児者相談支援センターと連携し、家族介護教室(オンライン)の情報提供をしている 今年度は行事開催(夏祭り)に合わせて、保護者懇談会の実施を検討している	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか		○	相談窓口、担当者を設置し、相談対応を行っている 重症心身障害児者相談支援センターとも必要時に連携し対応している	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		○	通所の月間予定表等で、活動報告や行事予定、施設からのお知らせ等を掲載して配布している	
	35	個人情報に十分注意しているか		○	個人情報保護の規定に則り、支援に当たっている 年1回は必ず個人情報保護の研修会を実施し、職員の意識向上に努めている	
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮しているか		○	必要に応じて絵カード等を使用して意思疎通を支援している ご家族とは連絡帳や日々の送迎時のコミュニケーションを丁寧に行うようにしている送迎時にご家族にお子さんの日中の過ごした様子を伝えるだけでなく、今取り組んでいること、成長している点などをできるだけ分かりやすく伝えるよう心掛けている	
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	令和5年度より、キャンパス全体の秋祭りを再開し、ご家族の参加は制限なしで実施している 施設全体で取り組んでいる鈴FESを11月に実施し、利用者、家族、地域住民、関係事業所等も多く参加いただいた		
非常時の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対策マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知しているか		○	緊急時対応マニュアル、感染症対応マニュアル等マニュアルの作成は、各委員会で作成、見直しを行い、職員にはミーティング等で周知を図っている 保護者にマニュアルの周知は十分ではないが、防災訓練は実施したことを連絡帳に記載したり、実施風景の掲示をするなど周知に努める	緊急時対応や感染症対策等の対応に関して、利用者様、ご家族様への周知とご理解を得られるように、個人面談時の伝達や施設内の掲示、ホームページの活用等を検討する
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練を行っているか		○	毎月、消火訓練、避難訓練を実施している 土砂災害についても訓練を実施	訓練実施等について、広報紙やホームページの活用によりご家族様への周知を図る
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか		○	虐待防止委員会を設置し、職員研修の実施や虐待防止マニュアルを作成し、適切な対応に努めている	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		○	身体拘束に当る行為については、児童発達支援計画に記載し、支援の評価の際に必ず身体拘束についても評価、見直しを行っている	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○	アレルギーの有無等は外来受診時に聞き取りを行い、食事を医師の指示の元提供している	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して、事業所内で共有しているか		○	ひやりはっと、インシデント・アクシデント報告は施設の所定の様式で報告書を作成し、事業所内での周知及び、施設の委員会への報告を行っている	

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）（令和5年度）

事業所名：重症児・者福祉医療施設 鈴が峰
 （ 放課後等デイサービス ）
 回答率（47% 登録者17名 回答8名）

評価項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	8	0	0		
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	5	3	0		
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	8	0	0		
適切な 支援の 提供	4 こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（※1）が作成されているか	7	1	0		
	5 活動プログラム（※2）が固定化しないよう工夫されているか	6	2	0		
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0	2	5	無記入1：わかりません	現在は近隣の児童クラブや児童館等との交流の機会を持つことはできていません どういった形で交流することが利用者様にとってより良いかについて検討をしております
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	7	1	0		
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	6	2	0		
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	4	3	1		個別面談について令和5年度は希望者のみ実施とさせていただきます、引き続き、来年度も予定しております また、個別面談以外でもお子様の送り迎え時に個別でのご相談等が気軽にできるよう関係づくりや相談しやすさに努めてまいります
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の連携が支援されているか	5	3	0		
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	3	4	0	無記入1：わかりません どちらともいえない1：苦情を言える状況ではない	苦情解決に向けた体制の整備について、周知を図るよう努めます 苦情について言いやすい、伝えやすい関係性作りにも努めます
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	5	2	1	言い方や態度が気になる	ご不快な思いをさせてしまい申し訳ございません 職員の不適切な言い方や態度について、振り返る機会を作り、改めるよう指導を行ってまいります
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	5	3	0		
	14 個人情報に十分注意しているか	6	2	0		
非常時 の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対策マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか	3	4	1		緊急時対応や感染症対策等の対応に関して、利用者様、ご家族様への周知とご理解を得られるよう努力してまいります
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	3	5	0		
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	7	1	0		
	18 事業所の支援に満足しているか	7	1	0		